



だい かい
第21回

LLブックセミナー

える える

LLブック

よ ほん
(読みやすくわかりやすい本)

だれもがみんな読書を楽しみたい。

ちてきしょう じへいしょう よ か じょう
知的障がいや自閉症、読み書き障がい
などがあっても、願いはいっしょ。

すす

を進める

LLとは、スウェーデン語の Lättlast の略語で、「やさしく読める」という意味です。

知的障がいがある人の主体性や自己実現 を大切にした読書活動の取り組み

知的障がい者が「地域で自分らしくあたりまえに生きていける社会」をめざして運営される社会福祉法人創思苑。通所者とともに取り組まれている読書活動を紹介していただきます。

1つめは、LLブックの制作です。当事者が語った自分史をデザイン美術コースの高校生が「私の歴史」というLLブックにしました。その経緯や当事者と生徒に与えた影響などについてお話しいただきます。また、選挙についてのLLブックも紹介していただきます。

2つめは、知的障がい者が仲間と1冊の本を読み合う「読み方教室」です。主催する小川さんが選んだ本を、読みたい人が音読していきます。当日は実際に当事者の方に参加していただき、「読み方教室」を行い、知的障がい者が本を読む意味についてお話しいただきます。

話題提供としては、今年度発行されたLLブックに関連する図書を数点紹介します。制作者自身が制作のねらいやその過程、工夫したこと等を作品とともにお話しします。

日時：2026年 2月23日（月曜日）

にゅうじょう
入場無料

13:00～16:30（開場：12:30）

定員：200名（当日先着順）

会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室

大阪市西区北堀江4丁目3-2

Osaka Metro千日前線・長堀鶴見緑地線

西長堀駅7号出口すぐ

電話：06-6539-3326 FAX：06-6539-3336





えるえる

LLブックセミナープログラム

13:00～14:30

創思苑（パンジー）で制作したLLブックについて

林 淑美：社会福祉法人創思苑理事長

知的障がいのある人が読み合う「読み方教室」

-本を読む（触れる）意味とは-

小川道幸：パンジーメディア・エグゼクティブプロデューサー

林 淑美さん 1992 年に社会福祉法人創思苑を設立し、知的障がい者が発信するパンジーメディアの母体、クリエイティブハウス『パンジー』などの運営を始める。知的障がい者が地域で自立生活を送ること、そして自分で決めるなどを支援している。著書『知的しうがい者がボスになる日—当事者中心の組織・社会を創る』現代書館等。

小川道幸さん 映像ディレクターとしてNHKを中心に多くのドキュメンタリー番組を手掛けってきた。その中でも7本のNHKスペシャルは高い評価を受けている。2016年からパンジーメディアで知的障がい者と映像を作り、毎月インターネット配信。『大空へはばたこう』『ヒマラヤの青い空と白い雲がくれたもの』等の映画も制作する。

14:30～15:00

休憩（会場にLLブックを展示・販売）

15:00～16:20 LLブック関連図書の新刊紹介

『いつも笑顔で』 川崎千加（京都産業大学等非常勤講師）

多賀谷津也子（大阪大谷大学等非常勤講師）

『あるいたさきに』 石川路子 松原絵美子

（甲南大学 LLブックプロジェクト）

『LLブックをすすめる』『わかりやすい母子健康手帳』

藤澤和子（びわこ学院大学教授）

16:20～16:30

質疑応答

企画・司会 藤澤和子

吉田くすほみ（ダウン症研究所）



主催：知的障がい・自閉症児者のための読書活動を進める会

共催：大阪市立中央図書館

後援：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

いくせいかい

ショウケンキョウシヨウ